

# 川崎↓箱根↓大磯↓川崎130km“爽行”

スーパーカーによって争われるラリーシリーズ「スーパーカーラリーチャレンジ2010」第4戦が21日、川崎市のチネチッタを発着点とした計130kmのコースで行われた。この日はプロラリードライバーの篠塚建次郎(62)や新井スーパーカーチャレンジ2010第4戦 敏弘(43)、俳優の堺正章(64)らも参加。単純に速さだけを競うのではなく、基準タイム通りに正確に走る競技の難しさに大いに興奮、あらためてモータースポーツの奥深さを感じ知らされた様子だ。

(ペン&カメラ=多賀まりお)

## 堺正章も参加

「スーパーカーラリーチャレンジ」は、これまでであったような愛車を見せ合う展示会やクラブミーティングの概念を覆すスーパーカーファンのイベントとして誕生した。初年度の今年は軽井沢ステーション(4月25日)で

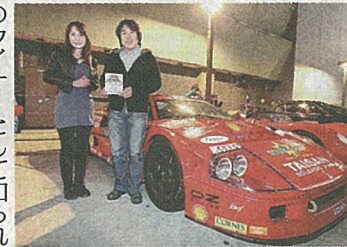
## いかに指定速度で走るか

開幕し、第2戦が清里ステーション(6月6日)、第3戦は北海道ステーション(9月4-5日)として開催され、今回が最終戦の東京ステーション。川崎市のチネチッタをスタートして箱根ターンパイク、大磯ロングビーチを経由してチネチッタにゴール。計130kmのコースで争われたが、競技自体はまず箱根ターンパイクでいかに指定速度通りに走行するかを競走。また大磯ロングビーチでも2回のスラロム走行を実施し、どれだけ指定速度に近いスピードで走れるかを競い合った。

## 「すごい加速」

この日は52台が参加し、50台が完走。クラシックカーのラリー「ラフエスタ ミツレミリアー」などの出場でも知られる俳優の堺正章もビンテージ・スポーツ・クラスに出場、クラス5位の好成績を収めたが、スケジュールの関係で表彰式には出席できず、慌ただしく会場を後にした。一方でパリタカや世界ラリー選手権(WRC)

フェラーリF40で初参加の新井とナビの藤本みりさん



この日は52台が参加し、50台が完走。クラシックカーのラリー「ラフエスタ ミツレミリアー」などの出場でも知られる俳優の堺正章もビンテージ・スポーツ・クラスに出場、クラス5位の好成績を収めたが、スケジュールの関係で表彰式には出席できず、慌ただしく会場を後にした。一方でパリタカや世界ラリー選手権(WRC)のウイナーとして知られる篠塚建次郎は、チームタイサンから電気自動車(EV)のテスラ・ロードスターを駆って出場し、特別賞を受賞した。篠塚は「テスラは今日が全く初めてのドライブだったが、他の参加者のスーパーカーと一緒に走っても置いていかれず、すごい加速でした」と、そのポテンシャルに目を白黒。「音もしないし、異次元の乗り物。新しい世界にビックリしました。大磯で充電できたのでバッテリーの心配をせずに加速できましたし、今後市販されたEVに乗り換えても違和感なく移行できると思います。おかげさまでラリー自体も楽しく走ることができました」と声を弾ませた。またプロダクションカ

「世界ラリー選手権(PWRC)」で2度世界王者に輝いている新井敏弘は、チームタイサンの新井敏弘(62)や新井スーパーカーチャレンジ2010第4戦 敏弘(43)、俳優の堺正章(64)らも参加。単純に速さだけを競うのではなく、基準タイム通りに正確に走る競技の難しさに大いに興奮、あらためてモータースポーツの奥深さを感じ知らされた様子だ。

「スーパーカーラリーチャレンジ」は、これまでであったような愛車を見せ合う展示会やクラブミーティングの概念を覆すスーパーカーファンのイベントとして誕生した。初年度の今年は軽井沢ステーション(4月25日)で開幕し、第2戦が清里ステーション(6月6日)、第3戦は北海道ステーション(9月4-5日)として開催され、今回が最終戦の東京ステーション。川崎市のチネチッタをスタートして箱根ターンパイク、大磯ロングビーチを経由してチネチッタにゴール。計130kmのコースで争われたが、競技自体はまず箱根ターンパイクでいかに指定速度通りに走行するかを競走。また大磯ロングビーチでも2回のスラロム走行を実施し、どれだけ指定速度に近いスピードで走れるかを競い合った。

この日は52台が参加し、50台が完走。クラシックカーのラリー「ラフエスタ ミツレミリアー」などの出場でも知られる俳優の堺正章もビンテージ・スポーツ・クラスに出場、クラス5位の好成績を収めたが、スケジュールの関係で表彰式には出席できず、慌ただしく会場を後にした。一方でパリタカや世界ラリー選手権(WRC)のウイナーとして知られる篠塚建次郎は、チームタイサンから電気自動車(EV)のテスラ・ロードスターを駆って出場し、特別賞を受賞した。篠塚は「テスラは今日が全く初めてのドライブだったが、他の参加者のスーパーカーと一緒に走っても置いていかれず、すごい加速でした」と、そのポテンシャルに目を白黒。「音もしないし、異次元の乗り物。新しい世界にビックリしました。大磯で充電できたのでバッテリーの心配をせずに加速できましたし、今後市販されたEVに乗り換えても違和感なく移行できると思います。おかげさまでラリー自体も楽しく走ることができました」と声を弾ませた。またプロダクションカ

# スーパーカーと互角

テスラで完走して特別賞。篠塚はEVのパワーに感嘆していた。(左から)チムタイサンの千葉代表、篠塚、ナビの舟木良氏



# EVに惚れた!!



全部で3コース  
「タールガ・フロリオ」  
スーパーカーラリー  
チャレンジの発着点と  
もなった川崎市のチネ

全長42mのモンスター写真のほかに、全部で3つのコースが用意され、車両のレンタル付きて15分間500円で楽しめる。1000分の1秒まで計れる独自の計時装置を備え、毎週日曜日にはレースイベントも開催されている。32分の1スケールのスロットレーシングカーは欧州で現在大流行しており、毎月10種類近くの新型モデルが発売されているという。営業時間は午前11時～午後11時(年中無休)。☎044・201・6262。